

和泉観ボラだより 第15号

2016.7 発行

〒594-0071 和泉市府中町 1-19-9 (和泉府中駅前) 和泉市いづみの国観光おもてなし処気付「和泉観光ボランティアクラブ」

TEL : 0725-40-5552

FAX : 0725-40-5553

和泉ゆかりの歌人「和泉式部」について

和泉式部は 978 年 (平安時代)、越前の国司 (中央から派遣された地方官僚的な立場で、現在の都道府県知事のような役職) であった大江雅致 (おおえのまさむね) の娘として生まれます。

「恋多き女性」と伝えられており、4 人の男性を愛したという話があります。その 1 人目が藤原道長の側近の橘道真 (たちばなのみちさだ) で、最初の夫となった人物で、和泉の国司をしていた人物です。

彼との結婚により和泉式部は和泉 (現在の大阪府和泉市) へと移り住みました。和泉式部という名前は夫が和泉の国司、父親の役職が「式部丞 (しきぶのじょう)」ということから名づけられたようです。



信太森葛葉稻荷神社に和泉式部の歌碑があります。

秋風は ひどく吹くとも 葛の葉の
うらみがほには みへじとぞおもふ

(秋風はひどく吹いていますが、裏を見せるといふ葛の葉のように、恨みを抱いていると見られるようなことはするまいと思っております。)

この歌は「新古今集巻第十八雑歌下」に載っています。



和泉式部は紫式部から歌人としての才能は認められていましたが、恋多き女性とされる素行に対しては批判されていたと言われています。

和泉に住んでいたときに娘の小式部内侍 (こしきぶのななし) が誕生します。その後、京の都に戻ると離婚をして、藤原道長の娘である藤原彰子 (ふじわらのしょうし) の女官として使え、やがて平井保昌と結婚します。保昌が丹後守 (たngoのかみ) の役職だった時代に、娘の小式部内侍が「大江山いく野の道の遠ければまだふみもみず天の橋立」(大江山を越えて、近くの生野へと向かう道のりですら行ったことがないので、まだ母の住んでいる遠い天の橋立の地を踏んだことなどありませんし、母からの手紙もまだ見ておりません) と詠んだ歌は有名です。

和泉式部が詠んだ「あらざらむこの世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」(わたしの命はもうすぐ尽きてしまうでしょう。あの世への大切な思い出として、わたしの命が尽きる前にせめてもう一度だけ、あなた様にお逢いしたいものです) の和歌と小式部内侍の和歌はともに「小倉百人一首」に選ばれています。

隣接する岸和田市には「恋の淵」「恋さめの淵」「蛙 (かわず) 泣かずのどんび淵」「式部塚」「式部川」「式部墓」「式部の湯殿石 (夜啼石)」「式部の硯塚」「式部の筆塚」など和泉式部に関する地名が点在しています。岸和田市内を流れる轟 (とどろき) 川について和泉式部が「轟の川の瀬に棲む鮎にこそうるかといえるわたはありけり (拾遺泉州志)」「轟やあの綿ばかりうるかなりこのわたばかりうるかではなし (泉州記)」という歌を詠まれてから轟川に鮎がいなくなったという話が伝わっています。

和泉観光ボランティアガイド出前講座報告

緑ヶ丘いきいきサロンで、5/19(木)午後1時15分～1時55分、出前講座を実施した。戴いた題「和泉市の事を知ろう」として、「和泉市の歴史の紹介」とあり、「光明皇后について」を、案内人(渡邊氏)サポート(細川氏)でご紹介した。光明皇后の誕生伝説(智海上人のおしっこを飲んだ女鹿から生まれた)・聖武天皇の皇太子時代に結婚し、即位後、王族以外から立后された最初の皇后になる先例となり、仏教に篤く帰依し、東大寺、国分寺の

設立を進言し、貧しい人に施しをするための施設や医療施設である「施薬院」を設置し、慈善を行った様子を身振り手振りでご紹介しましたが、時間がタイトでご出席者の皆様にご理解いただくには無理があったように感じられた。今後は、余裕のある、持ち時間を戴ける体制づくりを確立することが課題となった。寸劇は新メンバーで臨み、ご出席者の皆様に笑いは頂けず「しみりとした出来栄えでしたね」とのご評価を得ました。

小栗街道周辺のガイド演習 5月12日

ガイド演習はポイントごとに担当を決め、研修時に演習を行うシステムのため、当日の演習は5期生一人にサポーター2名の体制で実施しました。

コースは、和泉府中駅～和泉寺跡～西福寺～桑原町の街並み～和泉府中駅。

「もの語り観光」方式で、手持ちの資料で正しい年代や数値を確認しており、話題の豊富さと話し言葉の言い回しはサポーターを楽しませてくれた。しかしマニュアルが作成されないので、グループ全員が同一レベルでガイドを実施するにはためらいが生じたので今後のグループの演習課題としました。



奈良で和泉に出逢いました♪

安倍文殊院は日本三文殊の第一霊場(京都府・天橋立切戸の文殊、山形県・奥州亀岡の文殊)のひとつであり、第一霊場とされています。

大化の改新(645年)に創建された寺院だと伝えられています。東大寺の別格本山としてその格式も高く、御本尊は「三人寄れば文殊の智慧」の格言で有名な文殊菩薩で、快慶作の国宝です。

安倍文殊院のなかにある「稲荷社」は、安倍晴明出生の秘話にまつわる「くずのは稲荷」として祭られていて、金運のご利益があり、霊験あらたかなことで有名だそうです。桜井駅(JR・近鉄)より西南2kmに位置しています。



あなたにとって**大切な人の命**を

あなたは救うことができますか

～大切な人の命を守ることは、まず自分の命を守ること～

和泉観光ボランティアクラブ活動日誌

住吉大社研修・鶴山台花紀行

住吉大社研修

3月上旬、和泉観光ボランティアクラブ2015年度最終研修は、南海高野線・住吉東駅から「すみよし歴史案内人の会」のボランティアさんの案内で住吉大社界隈を歩きました。

住吉東駅から白壁の虫籠窓の風情を伝える商家・池田屋（住吉味噌）、聖徳太子建立の一運寺、伊勢神宮を崇拝する生根神社など数カ所をガイドして戴きながら住吉大社へと向かいました。渡ればお祓になるという住吉大社の太鼓橋、大社本殿をじっくりと案内していただきました。

観光ボランティアガイドの皆さんから、ゲスト別にコース案内書の配布があり、コース、移動時間、説明時間、出発時間、説明のポイントはとてもよかったです。コースのイラスト入り概略図はわかり易く、説明ポイントでのラミネート加工の写真・資料の提示は見やすく、伝わりやすかったです。

歴史案内人の会さんが用意してくださった行程・タイムスケジュール表の精密さと案内には全く感心しました。



鶴山台花紀行

和泉市は広いです。和泉中央駅に近い市民の方は松尾寺、槇尾山施福寺、若檜の枝垂れ桜（百滝桜）、黒鳥山公園の桜はご存じかもしれませんが、和泉の北部になりますと、鶴山台や信太山駐屯地辺りの桜が有名です。観光ボランティアクラブでは4月に「鶴山台花紀行」という観光コースを考えて、その選定を兼ねて研修をしました。

まず、JR北信太駅近くの「信太貝吹山古墳」へ。この名前の由来は江戸時代の一揆の時に、法螺貝を合図にここへ集まったということから貝吹山という名前がついたとのこと。

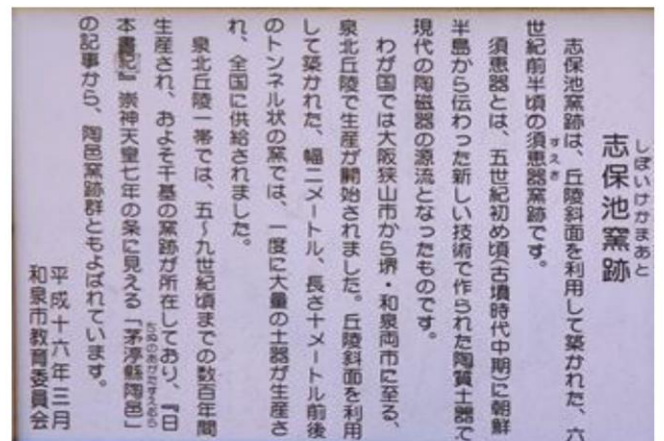
昨年オープンした地元産木材「いずもく」をふんだんに取り入れた和風建築様式の「北部リージョンセンター」、葛の葉稲荷に由来する校章の信太中学校の正門前を通り、桜の花の咲く志保池公園へと進みました。（写真・下左）

和泉の国の丘陵地帯は、須恵器生産の一大拠点として6世紀から8世紀にかけて「登り窯」による生産が行われたと伝えられています。

鶴山台団地は100棟以上が並び、そのメインストリートには数100メートルも続く檜並木があり、秋には黄色・茶色・赤色のカラフルな彩り並木になります。

檜並木を過ぎると「惣ヶ池遺跡」です。池上曾根遺跡に匹敵するような弥生時代の高地性集落跡が発掘されたところだそうです。（写真・下右）

「耕作するにも、漁をするのにも、飲み水を確保するのも大変な高地に、なぜ集落を構えたのだろうか？」と遙か昔の古代の人々の暮らしに思いをはせました。



さらに歩くと視界が開け「惣ヶ池大橋」を渡ります。ここから和泉山脈が見渡せます。水面に周りの新緑が映え、緑ゆたかな美しい風景がありました。ここから見る日の出は素晴らしいと聞きました。

和泉市には前方後円墳がいくつかありますが、惣ヶ池遺跡を渡ると、「丸笠山古墳」があります。

和泉市民でも馴染みがない場所には新鮮な出逢いがあります。志保池窯の志保池公園、惣ヶ池遺跡は桜が綺麗です。研修で新たな和泉を知りました。

観光ガイドへのお問合わせ先「和泉市いずみの国観光おもてなし処」

開所時間・10:00～18:00 定休日・月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始

TEL：0725-40-5552

FAX：0725-40-5553

和泉観光ボランティアガイド出前講座報告

4月 の年輪大学の講座講師は20日・27日。社会福祉会館。

「年輪大学の目的ってなんだろう？」

「ナンバーワンを目指そうとする事を目的？」

「オンリーワンを目指すことが目的」

「Dream incubate」

「新たな人生の夢を孵化させる出発点なのです！」。

講座生皆さんの目がキラッと輝いた瞬間でした。

講座題名「和泉市を知ろう」。観光紹介ならば、書物もあれば資料もある。そうではなくて「物語観光紹介」。南極観測第一次越冬隊「西堀栄三郎隊長」の言葉に「電気を起こせるならば忍術を使ってもええぜ！」これが原点。

訪れるお客様に喜んで戴くこと。

一般的には「鳥地獄」物語観光風に言えば「千石坂のブクブクさん」。「久保惣美術館」パンフを見れば展示物は一目瞭然。

物語観光は「土で作られた家の屋根にカエルが乗っている展示物をお探してください」「何の意味があるのでしょうか」。

オンリーワンを目指す皆さんの輝く瞳が見られたひと時でした。



4月 24日(日)光明台1丁目老人クラブ。光明台北老人集会所。

「和泉市光明台の歴史」

古代の和泉は海の底で、陸が隆起し雨の浸食により楯の歯状の地形が形成され、丘、谷、平野ができた。人類がここに住みついたのが約1万年前、古代の谷には象、鹿などの動物が住んでいたという。

この谷を利用し池がつくられた(最深部は約20m)、この急峻地の灌漑用池の工事には延べ30万人がかかわったとされています。

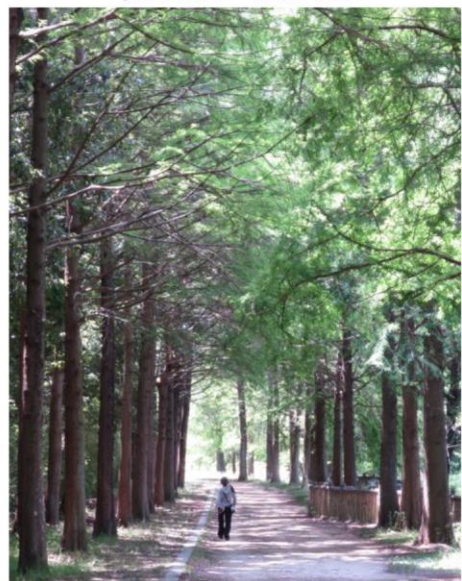
「光明池」の名前は民話伝説の光明皇后の名を冠したとされます。

昭和50年代周辺に住宅街が出来、現在周りは森林となっています。

1989年「大阪みどりの百選」に選ばれています。朝夕なに鳥がさえずり花が咲き、市民の憩いと健康作りのウォーキングコースがあります。

過去、現代、未来へと続く、正に光明輝く場所なのです。

光明池の遊歩道



韓国映画「冬のソナタ」の主人公、ヨン様が歩いた景色にも似た通り。